



人に学び・物に学び・自然に学ぶ

# 三室中だより

平成31年度 第2号 令和元年 5月8日(水)発行

《学校教育目標》  
自ら学ぶ生徒の育成 心の豊かな生徒の育成 健康でたくましい生徒の育成

さいたま市立三室中学校	
〒336-0912	ばんば
さいたま市緑区馬場1-38-2	
学校	048-874-2331
FAX	048-810-1125
相談室	048-876-1731
<a href="http://mimuro-j.saitama-city.ed.jp">http://mimuro-j.saitama-city.ed.jp</a>	

## 『新しい時代の始まり ～未来への一歩』 校長 渡辺 典子

透明なキャンパスが目の前にあるかのように、目に入る真っ青な空とハナミズキの街路樹は、絵に描いたように美しく、心地好い季節を感じさせてくれる。あっという間に皐月。

4月にスタートした三室中学校も1か月を経て、皆、スムーズに中学校生活に入ることができました。緊張感いっぱいだった新入生も1年生となり、毎日駆け足で一生懸命過ごしている様子が、あちらこちらで感じられ、とても微笑ましく思います。

そんな追われるような毎日だった4月。多くの人との関わりやともに過ごすことで共有することが広がり、生徒自身も色々な三室中のパーツが結びつき、一步一步、三室中生として成長してきました。全校集会では、生活のきまりを確認し、過ごしやすい学校生活を皆でつくっていくことの大切さを確認しました。新入生歓迎会では、先輩から委員会や部活動の紹介を受け、1年生が目をは輝かせてワクワクした時間でした。そして部活動の仮入部を経て本入部。中学校生活の1・2位を争う楽しみの一つを決め、学年を超えた、共通した気持ちをもつ集いの始まりがありました。どんな時もみなさんが一生懸命に、真剣に、頑張ろうとする気持ちがみなぎっていました。学習も中学生らしく取り組み、真剣な眼差しで黒板を、そして先生の話に耳を傾けています。昼休み、放課後に聞こえてくる元気な声。本当に色々なことが楽しみになる、明るい4月でした。

さて、この5月、30年の歴史を終え、『平成』が幕を閉じ、新しい元号の『令和』を迎えました。4月末からのこの10連休はそのための移行期間としてとらえる事が出来たでしょうか。私は、人生の中で元号が2回も変わる、そうないことを体験できただけでも、何か身が引き締まり、新たな気持ちをもつ事が出来ました。みなさんはこの新元号にどんな思いをもったでしょうか。

新しい時代が始まりました。急には変わることはありませんが、本当にすぐそこまで私たちが考えていた未来の社会が近づいています。それは「超スマート社会(Society5.0)」と言われているICTを最大限に活用した社会と言われています。先日3年生が行った全国学力学習状況調査でも、英語の試験で『話すこと』の力を試す問題がありました。今までのペーパーテストだけではなく、PCに向かって一人ひとりがヘッドレストを使って解答する姿は、まさにその始まりを垣間見た気がしました。また、そのPCを戸惑うこと迷うことなく操作する姿も納得する風景でした。それらを見ても、これから生徒の皆さんが活躍するこれからの令和の時代は、私たちの想像以上の生活や社会になっていくことを実感します。

これらに向けて必要なこと、それは自分の可能性を見付けるために挑戦することです。そのため色々な事への気付きや、なぜ?という疑問をもつこと、大切です。誰にでもチャンスは沢山あります。それを見逃さずキャッチしてトライする。中学校生活をどのように過ごすか

はすべて自分自身にかかっています。

決して自分のやりたいことだけでなく、幅広い視野をもち、何事にも全力で挑戦！してみましよう。

保護者の皆様には家庭訪問、三者面談、修学旅行等今月も沢山の御協力をいただくことがございますがどうぞよろしくお願いいたします。

ふしぎ

金子みずゝ

わたしはふしぎでたまらない、  
黒い雲からふる雨が、  
銀にひかっていることが。

わたしはふしぎでたまらない、  
青いくわの葉をたべている、  
かいこが白くなることが。

わたしはふしぎでたまらない、  
たれもいじらぬ夕顔が、  
ひとりでぼらりと開くのが。

わたしはふしぎでたまらない、  
たれにきいてもわらって、  
あたりまえだ、ということが。